



写真4 甕

## 10月2日（火曜日）更新 皿田遺跡の調査について

調査研究課の小澤です。

皿田遺跡の調査報告です。皿田遺跡はA区（1100㎡）・B区（2100㎡）、二つの調査区に分かれています。発掘調査はA区からはじまりましたので、今回はA区の調査状況を紹介します。

A区は、西から東へとびる尾根の南側の斜面に位置し、その中でも急な斜面の頂部から谷の中央部にかけた範囲を発掘調査の対象としています。



黒線で囲われた範囲が調査区

作業としてははじめに、調査区内の樹木伐採後の下草取りや腐葉土を取り除く作業を行いました。その結果、炭窯（炭焼き窯）が3基見つかりました。炭窯の範囲を確定するための表土掘削をおこなった後、土砂の搬出を考慮して南側の尾根状斜面の頂上部から下方に向けて発掘をはじめました。表土は斜面では20～30cmほどの堆積でその下からは地山（地盤）の花崗岩がみられます。斜面での表土掘削と地山（地盤）の検出の進み具合に合わせて炭窯を精査しました。



表土掘削状況（北より）

炭窯の作られた時代ははっきりわかりませんが、土砂の堆積状況からみると近代以降のものと考えられます。炭窯（001SY、002SY）は窯壁の下部が石で貼り付けられ固められていました。002SYでは床面の縁に溝を設置してありました。また、天井に使用したと思われる、焼かれて赤く変色した粘土の固まりが見つかりました。



天井材の一部（002SY）



炭窯（002SY）完掘状況

遺物は現在のところ、頂部付近（G2894）で土師質の銅の破片、調査区の南東角から南斜面の尾根のつけ根付近（G2895）からは山茶碗の底などが見つかりました。ここは土砂が堆積しやすい地形になっており、周辺からの遺物が流れ込んだものと考えられます。



鍋の胴部の破片

## 9月26日（水曜日）更新 9月15日（土曜日）に下山田代地区内遺跡の地元説明会が開催されました。

調査研究課の成瀬です。

9月15日（土）に下山田代地区内遺跡の地元説明会が開催されました。交通の便が悪く昼近くには雨が降りそうな予報もある中、50名もの人が今回の地元説明会に来ていただきました。

当日は、柿根田遺跡で古代の土壙墓と思われる土坑や建物跡の見学、猪移り遺跡で縄文時代の土坑などの見学が行われました。また、今年度これまで調査した遺跡の主な出土遺物の展示を行い、縄文土器や石器、古代・中世の陶器・土器、近世の木製品や金属製品などを見ていただく事ができました。来ていただいた方からは多くの質問が出され、中にはこちらが答えに困るような難しい質問をされる方などもおられ非常に充実した説明会となりました。

秋以降、遺跡調査をしている周辺で山を切り開くような造成工事が少しずつですが始まるようです。今後は、今回のように遺跡の調査風景を現地でゆっくり見てもらえるような機会を作る事が難しくなりますが、調査の成果などについてはwebページなども含め別のかたちでお見せできるようにしていきたいと思っております。





## 9月19日（水曜日）更新 野田内遺跡の調査について

調査研究課の奥野です。

**野田内(のだうち) 遺跡**の調査について紹介します。

野田内遺跡の調査は6月から7月にかけて行われ、**中世の流路跡**や**木製品**、**土器**や**陶磁器**などの遺物が見つかりました。



▲写真1

調査が始まったばかりの頃の様子です。パワーショベルでゆっくりと遺跡の土を掘って行き、遺構や遺物が見つかる地層を探して行き

ます。



▲写真2

調査区の西側で見つかった**近世の流路跡**です。流路は、調査区の北西から南方向に向かって流れていたようです。流路の内部には、木の枝を加工して作った杭がいくつも突き刺さっている状態で見つかりました。近世の時代に、杭を使って**護岸工事**を行った可能性があります。



▲写真3

流路跡の近くで見つかった**寛永通宝(かんえいつうほう)**です。「古寛永(こかんえい)」と呼ばれるお金で、17世紀の中頃～末頃に作られたものです。



▲写真

調査区の南側で見つかった中世の流路跡を調査区の南側からみた様子です。この流路の底の地層からは、「山茶碗(やまちゃわん)」とよばれる中世の焼き物が出土しています。



▲写真

中世の流路跡から見つかった木製品です。上は付札（荷札）だと思われます。

## 9月12日（水曜日）更新 柿根田遺跡の調査について

調査研究課の米満です。

柿根田遺跡の調査は、8,000㎡ある調査区を、A区～D区に分けて行っています。7月末にC区の発掘調査が終了したので報告します。



写真1

C区の大部分は、調査前は圃場整備などをされた田んぼだった所です。パワーショベルで、埋め立てられた土などを慎重に取り除きました。（写真1）



写真2

土を取り除いたところに、直径20～30センチ位の石が、長さ約5～6メートル、幅約2～3メートルの範囲でまとまって出土しました。（写真2）。詳しく調査すると、そこは中世以前に2本の小さな川の合流地点であったことがわかりました。護岸の目的で川の合流地点に石を並べたものだと考えられます。川の跡から葉っぱ、木の枝、幹、ドングリなどの植物質の遺物や、石器の材料として使われた黒曜石、サヌカイトなどの石が出土しました。



## 写真3

また、それ以外に**縄文時代の土器**や**古代の灰釉陶器**、**中世の山茶碗**などが出土しました。出土した灰釉陶器や山茶碗の中には、**墨書**（墨で文字や絵を書く）が施された物が複数ありました。その中の一つに、表裏とも「月」に「寺」と書いて「月寺」と書かれた**灰釉陶器**がありました。（写真3）この漢字は「時」の異体字で、「とき」と読みます。古代は文字の読み書きができる人の数が、相対的に少なかった時代です。そのことを考えると、この出土で文字の読み書きができる数少ない知識人が、この地域に生活していたことがわかります。[\(about:blank\)](#)

**9月5日（水曜日）更新 神デン・日面遺跡の調査について（続報）**

調査研究課の小澤です。

**神デン・日面（ジデン・ヒヨモ）遺跡**の調査の続報です。

前回はA区、B区の報告をしました。今回は**C区の調査状況**を紹介します。

C区は調査区の最も西側で3段の水田の最下段に位置しています。ここでもA区、B区と同様に耕作地跡が見つかりました。耕作地の南端には耕作土が流れないようにするため、大量の小石が置かれていました。また、そのすぐ南には、B区で見つかった溝と同じような石組みが見つかりました。B区では溝の両側に石組みがありましたが、C区では一列しか見つかりませんでした。現在、調査区の南側に沢がありますが、耕作地が使用されていた時期には耕作地の近くまで沢が流れていたようです。これらが作られた時代は、遺物の**灰釉陶器**や**山茶碗**などから**11世紀～13世紀**と考えられます。なお、これまでの調査によって、全調査区に土石流による巨石を含む多量の石が流れ込んでいたことがわかりました。巨石の中には矢穴（やあな）という石を割る楔（くさび）を打ち込むための穴が施されたものがあり、この矢穴は近世以降に施されたとみられます。耕作地を整備するために巨石を取り除こうとしたことがうかがえます。このことから、当時の人々が狭い耕作地を懸命に維持し、少しでも広げようとしたことがわかりました。



中央右上（北東）の黒色土が耕作土でその下に左右（東西）に広がっているのが小石の集積、左下（南西）に石組み。中央の巨石に石を割る楔（くさび）を打ち込むための穴（矢穴）あり。



石組み。東西方向に約7mにわたって見つかった。最高3段に積まれていた。ところどころ崩れていて東西方向に直線的に積まれていたかどうかはわからない。





でこぼこしているのが、石を割る楔（くさび）を打ち込むための穴（矢穴）の跡

## 8月8日（水曜日）更新 神デン・日面遺跡の調査について

調査研究課の小澤です。

**神デン・日面（ジンデン・ヒヨモ）遺跡**の調査について紹介します。

調査区は東からA、B、Cに分かれています。現在はA区、B区の調査が終了しましたので、それぞれの調査状況を紹介합니다。

### A区

耕作地跡が見つかりました。棚田状の段差がみられます。山茶碗（12～13世紀頃）などが出土しました。



黒色土が耕作地で奥（北側）から棚田状に段差があります。

### B区

耕作地跡と溝が見つかりました。耕作地はA区と同じように棚田状の段差が見られます。溝は自然石を使用した石組みの溝で、石の中には置きやすいように加工したものもありました。また、石組みの高さをそろえるために地盤に小石を敷いてその上に石を置いた箇所もありました。B区では、山茶碗だけでなく中国産陶磁器（13世紀頃）が出土しています。



黒色土が耕作地で中央に段差があります。手前（南側）に東西方向の溝があります。



溝を拡大しました。小石が敷かれているのがわかります。



中国産青磁碗です。

## 6月14日（木曜日） 豊田・岡崎地区研究開発施設用地内遺跡の調査

調査研究課の伊奈です。

豊田・岡崎地区研究開発施設用地内遺跡の発掘調査が5月末から本格化しました。豊田市下山地区（一部岡崎市額田地区を含む）に展開する複数の遺跡を調査していきますが、現在、当センターが担当する**柿根田遺跡**（豊田市下山田代町）、**神(じん)デン・日面(ひよも)遺跡**（同町）、**野田内遺跡**（同町）の調査が行われています。（同時期に（公益財団法人）愛知県教育・スポーツ振興財団**愛知県埋蔵文化財センター** (<http://www.maibun.com/top/>) が担当する**猪移(いうつり)遺跡**、**トヨガ下遺跡**の調査も始まりました。）

今後、このページを使って、当センターが担当する遺跡の発掘状況を順次紹介していきます。



柿根田遺跡



神デン・日面遺跡



野田内遺跡

#### 関連コンテンツ

- ❖ [愛知県埋蔵文化財調査センター \(http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html)
  - ❖ [総務課 \(http://www.pref.aichi.jp/0000032069.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032069.html)
  - ❖ [事業の内容 \(http://www.pref.aichi.jp/0000032110.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032110.html)
  - ❖ [利用の案内 \(http://www.pref.aichi.jp/0000032111.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032111.html)
    - ❖ [資料管理閲覧室の紹介 \(http://www.pref.aichi.jp/0000032114.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032114.html)
      - ❖ [資料管理閲覧室「展示解説シート」 \(http://www.pref.aichi.jp/0000052701.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000052701.html)
  - ❖ [アクセスマップ \(http://www.pref.aichi.jp/0000032112.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000032112.html)
  - ❖ [過去の活動報告 \(http://www.pref.aichi.jp/0000050832.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000050832.html)
  - ❖ [平成24年度 活動報告 \(http://www.pref.aichi.jp/0000050833.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000050833.html)
  - ❖ 平成24年度 発掘調査報告
  - ❖ [平成24年度 お知らせ \(http://www.pref.aichi.jp/0000052702.html\)](http://www.pref.aichi.jp/0000052702.html)

#### お問い合わせ

愛知県 埋蔵文化財調査センター

電話: 0567-67-4164

E-mail: [maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp](mailto:maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp) (<mailto:maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp>)